



天文台だより

銀河の森天文台
2025 夏号
Vol.108

7/5(土)、第14回陸別スターライトフェスティバル開催します！



JAXA宇宙科学研究所(ISAS)副所長 津田 雄一教授

講演会「はやぶさ2の挑戦～小惑星のかけらを求めて～」

7月5日(土)に第14回陸別スターライトフェスティバルを開催します。今年のスターライトフェスティバルは、JAXA宇宙科学研究所(ISAS)副所長 津田雄一教授をお迎えして講演会「はやぶさ2の挑戦～小惑星のかけらを求めて～」を開催いたします。

2020年12月6日小惑星探査機「はやぶさ2」は約52億4000万kmの旅を経て、地球に小惑星「リュウグウ」のサンプルを持ち帰りました。そして今も新たな目標に向かい旅を続けています。「はやぶさ2」のプロジェクトマネージャーを務められた津田雄一先生の貴重なお話を聞くことのできるまたとない機会です。講演会の時間に合わせて、町内無料送迎バスを運行いたしますので、みなさまぜひお越しください。

また、この日は開館時間を延長して夜12時まで開館しますので、講演会後もゆっくりと星空を楽しむことができます。さらに、屋上広場には望遠鏡設置スペースを用意します。ぜひご自分の望遠鏡をご持参下さい。皆様の愛機と一緒に夜空を楽しみましょう。

「館長コラム」

今年の夏も暑くなるのでしょうか。気象庁の予報によると今年も猛暑となると予報しています。天文台としては、暑さより夜晴れるかどうか気になるところですが、北日本では7月は曇りや雨の日が多いと予報されています。晴れの日が期待できないような感じです。



館長
津田浩之(双子座)

8月以降の予報は出ていないのでわかりませんが、ペルセウス座流星群は晴れてほしいですね。この季節、外に出ると蚊や虻といった不快昆虫が気になります。昨年ネット話題の「オニヤンマくん」トンボのどかい模型ですが、これを身に着けると虫が来ないなどと言われているので買ってみました。帽子の上に付けたり、服に付けたり、とやってみましたが、効果は判らないというところで落ちついてます。評判では、「蚊に効かないが虻には効く」、「ハエが来なくなった」、「服に着けていても虫に刺された」などいろいろです。本当のところどうなのでしょう。今年も検証してみたいと思います。

9月8日未明には、皆既月食があります。月曜日の未明の現象です。残念ながら天文台の閉館時間から2時間あとの始まりなので観測会はありません。西の低い空で皆既食になるので観測場所は限られてくると思います。来年の3月3日には夜半前の皆既月食がありますのでそちらを楽しみにしてください。

梅雨のない北海道と言われていますが、7月から8月は天候不順で湿度が上がります。カメラや望遠鏡、双眼鏡などにカビが付かないように湿気対策を忘れずにしましょう。

夏のイベント情報 !!

☆第14回陸別スターライトフェスティバル

開館日を記念して、皆様と一緒に星空を楽しむイベントを開催します。この日は夜12時まで開館時間を延長します！

開催日時：7月5日(土) 午後2時～午後12時

講演会：午後7時～午後8時30分

☆夏の大三角と天体観望会

イベントの期間中は月明かりの影響が少なく、暗い夜空に夏の「大三角」や天の川を楽しめます。望遠鏡では天の川周辺の夏の天体を観望します。ぜひ、ご来館ください。

開催日：7月23日(水)～8月3日(日)

説明会：午後7時30分から(土曜・日曜のみ)

☆ペルセウス座流星群観望会

今年のペルセウス座流星群は8月13日午前5時に極大時刻を迎えます。流れ星が多いと予想されるこの期間に観望会を開催します。

開催日：8月12日(火)、13日(水)

説明会：午後7時30分から

☆土星と秋の天体観望会

見頃を迎える土星と秋の天体を観望します。望遠鏡では、土星の輪などじっくり観察することができます。

開催日：9月17日(水)～28日(日)

説明会：午後7時30分から(土曜・日曜のみ)

暦 表

(陸 別 町)

	日の出	日の入	月齢	月の出	月の入
7月 1日	3:44	19:14	5.7	9:52	22:36
7月15日	3:54	19:08	19.7	21:29	8:27
8月 1日	4:10	18:51	7.3	11:53	21:55
8月15日	4:26	18:32	21.3	21:05	11:18
9月 1日	4:45	18:04	8.9	13:55	22:10
9月15日	5:01	17:39	22.9	22:15	14:05

天文行事&暦

7月

- 4 水星が東方最大離角
(光度:0.5等, 離角:25°56')
- 5 第14回陸別スターライトフェスティバル
- 7 小暑(24節気:太陽黄経105°)
- 11 ○満月
- 17 道みんの日
- 22 大暑(24節気:太陽黄経120°)
- 23-8/3 夏の大三角と天体観望会
- 25 ●新月

8月

- 7/23-8/3 夏の大三角と天体観望会
- 7 立秋(24節気:太陽黄経135°)
- 9 ○満月
- 12 天文台特別開館
- 12,13 ペルセウス座流星群観望会
- 13 ペルセウス座流星群が極大
(AM5時 最大40個/時)
- 19 水星が西方最大離角
(光度:0.0等, 離角:18°35')
- 23 ●新月
- 処暑(24節気:太陽黄経150°)
- 29 旧七夕

9月

- 7 白露(24節気:太陽黄経165°)
- 8 ○満月
- 皆既月食
(始02:31、最大03:12、終03:53)
- 17-28 土星と秋の天体観望会
- 21 土星が衝(0.6等, 視直径19".4)
- 22 ●新月
- 23 秋分(24節気:太陽黄経180°)
- 海王星が衝(7.7等, 視直径2".4)

暮らしと宇宙「地球の水風景」

陽射しと緑が日に日に眩しく、夏が近づくのと同時に雨の降る日の増える気配を感じます。雨上がりや降雨中のひそかな楽しみといえば、山霧を眺めることです。

折り重なる山々や森の木々の間から、湯気のように立ち上る霧は何とも幻想的で美しい光景です。普段なかなか目で見ていない「大気中の水分」や「大気の流れ」を、地表に近いところで観察していると、不思議で感動します。また、霧の中に入ってしまうと見通しもきかず風景もわかりませんが、離れたところから見ると捉え方が変わるのも面白いですね。

雨の日は星が見えないのが残念ですが、天文台周りのきれいな景色を探していきたいと思います。(守)



▲太陽望遠鏡のドームと、森から立ち昇る山霧

星座小噺「半人半馬?のいて座」

今回は12星座の1つであるいて座について紹介していきます。北海道では高い位置まで昇らないですが、ティーポットのような星の並びがあり見つけやすい星座です。

いて座はギリシア神話に登場する上半身が人間、下半身が馬の姿をした半人半馬のケンタウロス族のケイローンとされることが多いです。神話の中でケイローンは英雄ヘラクレスが放った矢に当たり亡くなってしまい、彼の死を悼んだゼウスが天に上げ星座となったとされています。

ケンタウロスの姿であらわされることが多いいて座ですが、後ろ足に当たる部分の星が暗く4足歩行をしているように見えなことから、ケイローンではなく、ギリシア神話内で弓を発明したクロトスであるとする説もあります。どちら



Sagittarius

の説もありません。どちらの説も紀元前2世紀頃には唱えられており、今でも意見が分かれています。

星座と神話の関りにはいろいろな解釈があります。皆さんも自分なりの解釈で星座を楽しんでみてください。(寺)

天文台からのお知らせ

☆ 7月17日(木)は道みんの日に伴い、入館料が無料となります。

☆ 8月12日は火曜日ですが、特別開館いたします。

プラネタリウム情報!!

プラネタリウムは、開館日の土・日・祝日のみの上映になります。

定員:10名(入館者先着順、受付にて整理券を配布)

上映時間:午後3時、4時、5時(開館日の土・日・祝日のみ)

上映番組:「今夜の星空」(各回約10分)

発行・編集:りくべつ宇宙地球科学館(銀河の森天文台)

〒089-4301 北海道足寄郡陸別町宇遠別 TEL:0156-27-8100

URL: <https://www.rikubetsu.jp/tenmon/index.html>

E-mail: ginga@rikubetsu.jp Twitter: @ginganomori_obs

